

行政評価シート(事後評価)

コード 6-3-2	事務事業名 プレイリーダーの養成	所管部課 子育て支援部児童青少年課
--------------	---------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	西東京市子育て支援計画に基づき、地域で子どもの育ちを支える仕組みとして、子どもたちが自由に遊びをするための環境を実現し、遊びの見守りや指導をする大人を市民参加型で養成する。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要・補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	公募により受講者を募集し、専門講師等による講座などを実施してリーダー養成を行う。OBなどは地域育成会事業などに参加している。平成17年度は、いこいの森公園にて養成リーダーによるイベントとして「あるあるあそび隊」を開催した。幾つかの遊びコーナーを設置し、地域でできる遊び体験を実施した(市内保育園・幼稚園小学校などへ呼びかけを実施。親子参加819名)。平成18年度は、保谷柳沢児童館にて、火おこし・飯ごう炊飯・各種工作など自然のなかでの体験遊びを行う「ガキ大将体験塾」を実施した(小・中・高校生24名参加)。平成19年度は、ひばりが丘児童館にて、ダンボール・板・ブルーシートなどを使った基地作りを行う「秘密基地を作ろう」、牛乳パックを使ったホットドック・ポップコーンなどの野外料理体験を実施した(小・中・高校生24名参加)。	
事業開始時期	16 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)			44	60	60
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
内訳	その他()					
	一般財源		44	60	60	286
所要人員(B)	人		0.45	0.45	0.45	0.45
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		3,683	3,672	3,672	3,672
臨時職員等賃金(C')	千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		3,727	3,732	3,732	3,958
単位当たりコスト						
(E)=(D)/(参加人数)	千円		5	156	69	#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	講座開催回数	実績値	回	1	4	3	
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など)							
	成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	一 次 参加人数	目標値	人				30
実績値		人		819	24	54	
二 次 OB活動人数	目標値	人					
	実績値	人					
(指標の説明・数値変化の理由 など) 自発的に活動しているOBの追跡調査等を行ってみたい。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	特になし	
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	冒険遊び場「プレイパーク」(火を使ったり、木に登ったり、道具や廃材を使って何かを作ったり、子どもが自由に遊ぶことができる遊び場)を有する自治体(小平市・清瀬市・町田市・東大和市・北区世田谷区など)においては有償のプレイリーダーを配置しているが、本市のようにパークを有しないでリーダーを養成する取組を実施している自治体は少ない。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	ボーイスカウト、育成会主催伝承遊び

コード 6-3-2	事務事業名 プレイリーダーの養成	所管部課 子育て支援部児童青少年課
--------------	---------------------	----------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等	
事業の優先度(緊急性)	2			<input type="checkbox"/> 拡充	<p>プレイリーダーとは、本来の意味はプレイパークに常駐し子どもたちが自由に遊びをするための環境を実現し、遊びの見守りや指導する大人をさすものである。</p> <p>国が提唱し推進する「放課後子どもプラン」中の放課後子ども教室推進事業においても、子どもが集い、安全・安心に遊ぶことのできる場所を、小学校を単位として、地域で作り上げることとされている。</p> <p>また、児童館における「遊びの学校(出前児童館)」もこれに類するものと考えられるが、地域で子どもの育ちを支える仕組みを市民参加で構築していくうえでプレイリーダー(遊びの支援者)の養成は今後も必要と考える。</p>
事業の必要性	2			<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
事業主体の妥当性	3			<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
直接のサービスの相手方	1			<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	3			<input type="checkbox"/> 休止	
受益者負担の適切さ	3			<input type="checkbox"/> 廃止	
市民ニーズの把握	2				

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等	
事業の優先度(緊急性)	2			<input type="checkbox"/> 拡充	<p>子育て支援計画に基づき、プレイリーダーの養成講習が実施され、一定の参加を得ている。一方、講習の参加者の活動の場をどこに求めるのか、関係部署、関係団体との連携を図る必要があると思われる。</p> <p>プレイパークを活動拠点としたプレイリーダーという概念から、中高生などのジュニアリーダーの養成へシフトすることも視野に入れるとともに、養成講習参加者の追跡調査をするなど、実態把握に努められたい。</p>
事業の必要性	2			<input type="checkbox"/> 継続実施	
事業主体の妥当性	2			<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し	
直接のサービスの相手方	1			<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	2			<input type="checkbox"/> 休止	
受益者負担の適切さ	2			<input type="checkbox"/> 廃止	
市民ニーズの把握	1				

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>現在、子育て支援計画に基づき、プレイリーダー養成のための講習等が行われ、一定の参加者を得ており、地域における子どもの育ちを支えるものとして評価できる。一方で、講習等の参加者をプレイリーダーとして実際に活用していくことが課題となっている。今後は、養成講習参加者の追跡調査をするなど、実態把握に努めるとともに、関係部署・団体との連携により、プレイリーダーの活動の充実に努められたい。</p>